



歯医者さんからのかわらばん

もぐもぐ施設だより

Vol. 15



歯だけの問題じゃない！
歯周病と糖尿病との関係

歯周病で歯がなくなり、かむ機能が低下すると全身の健康に影響します。今回は糖尿病との関わりをピックアップしてお伝えします。



糖尿病と歯周病の関係をもっと知るための4つのポイント

歯周病

糖尿病

自分たちでできること

歯科医からのアドバイス

詳しくは中面をご覧ください!!

訪問歯科診療・施設指導のご案内

身体の不自由な方、寝たきりの方で、歯科医院に通院できない方のために、高松市歯科医師会では会員の協力により、訪問歯科診療を行っています。また、介護施設での口腔衛生指導もお受けします。いずれのご相談も下記の電話番号までご連絡ください。

- 訪問歯科診療をご希望の方は…
- ①かかりつけの歯科医をお持ちの方はまずそちらへご相談下さい。
 - ②かかりつけの歯科医が訪問できない場合、高松市歯科医師会にご相談ください。

高松市歯科医師会へのご相談

TEL:087-851-1166

※訪問歯科診療はすべての治療ができるものではありませんので、お口の中の症状、お体の症状を歯科医師にご相談下さい。

高松市長挨拶

「口は健康の入り口」と言われており、歯と口腔のケアは、口の中を清潔に保つだけでなく、全身の健康と深くかかわっております。とりわけ、今回のテーマでもあります歯周病は、歯を失う原因になるだけでなく、肺炎や心臓疾患・糖尿病などの発症や重症化の要因となる可能性があるとして指摘されております。

このようなことから、本市では、生活習慣の改善に取り組むため、妊婦及び成人期の節目の歯科健診を行うとともに、成人を対象に、口腔ケアの普及・啓発を行う健康教室のほか、糖尿病予防教室で歯周病との関連性について講義等を実施しているところでございます。

市民の皆様には、本紙の情報などを十分に活用いただき、健康の保持・推進に取り組まれますようお願い申し上げます。

高松市長 大西 秀人

高松市歯科医師会 会長挨拶

今回のもぐもぐ施設だよりは、現代日本の国民病である『糖尿病』と『歯周病』の関係について作成いたしました。日本人の歯周病患者は約331万人、糖尿病患者は約1000万人ともいわれられており、歯周病と糖尿病は互いの病態に悪影響を与え、重症化しやすいことが明らかになっております。歯ブラシ一本から始まる日々のブラッシングは元より、定期的にかかりつけ歯科医院で健診や口腔ケアを受けることでかむ機能をしっかりと維持し、食生活から生活習慣を改善し、介護の予防と介護度の重症化を抑える事が重要と考えております。

私たち高松市歯科医師会は、今後も市民の皆様のお口と健康づくりを通して全身の機能向上を目指し、口から始まる健康長寿を実現するため日々研鑽してまいります。

公益社団法人高松市歯科医師会会長 梅村 謙二

休日・夜間に歯のことで困ったら!!

休日・夜間の救急歯科治療や身障者の歯科診療も行っています。高松市歯科救急医療センターへご連絡ください。

診療内容・時間	曜日	月	火	水	木	金	土	日・祝
休日救急診療 9:00~12:00 13:00~16:00 (年末年始・お盆)	休診	休診	休診	休診	休診	休診	休診	○
夜間救急診療 19:30~22:00	○	○	○	○	○	○	○	休診
障がい者診療 9:30~12:30 13:30~16:30 完全予約制	○	休診	休診	○	休診	○	○	休診

※気象警報、災害警報の発令中は休診になることもあります。受診の際はTELにてご確認をしてください。※本事業は高松市の補助を受けて実施されています。○診療しています

お問い合わせ・診療のご予約は

TEL:087-851-1167

公益社団法人 高松市歯科医師会

〒760-0066

高松市福岡町3-36-23

FAX:087-851-1120

ホームページはこちらから▶



